

日 時 2021 年 9 月 5 日（日）午前 9 時～12 時 於；Y45 加留部宅

出席者 中村会長 小清水副会長 加留部事務局長 安藤 杉田 野々村 福井  
中澤（アドバイザー） 原島（アドバイザー）

議題 1. 今後の大規模水道水道工事の在り方について 中村会長

- ① 4 月の社長面談時に松島社長より来年度以降の工事について本年秋口に新提案をしたいと申し入れがあったことを受けて本年度連絡会役員会は 10 月で終了するのでそれまでに何らかの回答をするよう申し入れた。社長の回答はコロナ禍を理由にゼロ回答であった。内容のゼロ回答だけでなく期限の見込みについても大幅に遅れるとのこと。
- ② 事前に現地管理人や工事会社信濃住設に新提案の下打ち合わせを実施したかの確認をしたが社長からの連絡は全くないとのこと。
- ③ 7 月に現地で「仮設工事」の勉強会を実施し、議事録を社長に送ったがコメントは無かった。勉強会には社長は当然の如く欠席であった。
- ④ 以上より社長の言動は全く信頼できず、別荘地の管理会社として不適格と判断せざるを得ないが地権者が管理会社の交代を要求するのは適当でない。
- ⑤ 「仮設工事」工法は今や常識であり仮設工事の無い配管工事はありえないことが明確になった。
- ⑥ 仮設工事採用による最大メリットは施工ミスをなくすことによる配管工事の効率化である。これをどのような形で地権者に還元するかを会社に求めたい。
  - ・工期の短縮
  - ・工事単価のコストダウン（工事効率化による人件費節減可能性）
- ⑦ 今後の対応

社長のゼロ回答に対し会長より改めて「猛省を促す」抗議書（小清水副会長原案）を送りその返答を待つ。信頼に足る相手と見られないことから、懸案事項の凍結を訴えた。返答の内容次第で連絡会の対応を決める。

- a. 抗議書に対する会社の返答を待って全会員に状況報告をする。
- b. 財産区との接触は必要と考える。接触できたとしてすぐに実情を訴えるのではなく顔つなぎから始める。

現時点では 5 財産区のどことも繋がりががないので以前バス道路補修工事で陳情に行ったことのある穴山財産区出身の長田市議員経由で穴山財産区役員の紹介をお願いする。

## 議題 2. 管理費値上げ問題

会社の水道工事新提案を 10 月世話人会までに提示するよう求めたのは提示後交渉テーブルについてもらう意図があった。そのテーブルで管理費問題も討議するつもりであったが会社がゼロ回答であったのでその目論見はなくなった。

今後は水道工事新提案ゼロ回答に対する抗議書への返答次第で方針が決まる。

(議題 1. ⑦ 参照)

## 議題 3. 信州土地面談報告

伊東社長よりこの数年の美濃戸物件成約件数 10 件（社有地 4 件 中古物件件数 6 件）との報告があった。

蓼科観光の販売窓口となっているが積極的販売にどれだけ注力してくれるか期待したい。

(なお、中古物件 6 件の内 4 件は既に連絡会入会済。)

## 議題 4. ポスティング報告

建物所有非会員数 (108 件) の事務局データに基づき 8 月末までにポスティング終了した。

9 月 5 日現在入会の申し込みはない。

世話人各位にはご近所に声掛けして入会促進活動をお願いしたい。

## 議題 5. 総会議案審査時における提案・質問事項への対応

### ① 枯れ木感謝祭の在り方、新規イベントの検討

→事務局で検討する。

### ② a 別荘地が抱える構造的社会的問題とは何か

→会社提出資料（小清水副会長作成）を問い合わせ者に事務局が提示する。

### b 財産区議長との情報交換の目的、c 財産区議長との問題解決

→中村会長が作成し問い合わせ者に事務局が提示する。

## その他 会社の緊急時一斉メールについて

会員から、現在の携帯電話方式は高齢者にとって扱いにくいので昔の軽トラ/スピーカー方式を復活してほしいとの要望があった。

→以前の軽トラ/スピーカー方式は使い勝手が悪くすぐに取りやめになった。携帯電話万能の現代では慣れていただくしかないことを会報冬号でお願いする。(事務局)

→断水通知は当該地区定住者（季節定住者を含む）には直接連絡するよう管理事務所をお願いする。(事務局)

以上